

職員の皆さんへ

一緒に取り組もう！プラスチック削減



職員のみなさん、近年、プラスチックごみが海の生態系に深刻なダメージを与え、地球規模の問題として危惧されていることはご存じでしょうか。安価で加工しやすく耐久性に優れたプラスチックは、私たちの生活に様々な形で広く利用され、なくてはならないものとして普及しています。

しかしながら、一方でそのプラスチックの長所は、ごみになった途端に大きな欠点となってしまいます。

みなさんは、海ガメの鼻にささったプラスチック製のストローを人間が抜いている動画を見たことがありますか？私はあの動画を見て大きな衝撃を受けました。

プラスチックは自然に戻りません。私たちが使ったストローやレジ袋が適正に処理されず、海に流れ出すことで、海は汚れ、美しい浜辺が喪失し、漁業への影響も深刻になります。

東村山市は海がないから関係が無いと思いますか？そうではありません。ポイ捨てや不法投棄が市内の川を通過して海に漂着し、海を汚している可能性があります。市内には柳瀬川、空堀川など、たくさんの川があります。それらの川でも時々、レジ袋やペットボトルが落ちているのを見ることがあります。

東村山市は「1人1日当たりのごみ排出量」の少なさ及び「リサイクル率」の高さが全国でも10位以内をキープしており、これは市民のみなさんのごみ減量への意識が極めて高いことのおかげですが、より上位を目指し更なるごみの減量に向け、まずは市役所の職員のみなさんに、市民の範となるべく、率先して以下の点と一緒に取り組んでもらいたいと思います。

- 1 買い物際にはレジ袋を使用せず、マイバッグを利用しましょう
- 2 ごみの分別を徹底し、リサイクルに結びましょう
- 3 マイボトルを持参し、ペットボトルを削減しましょう
- 4 清掃活動に積極的に参加しましょう

職員のみなさんに、これらの取り組みを積極的に行っていただき、持続可能な未来へシフトし、未来の子供たちにこれからも「人と人 人とみどりが響きあい 笑顔あふれる 東村山」を残していけるよう力を合わせましょう。

東村山市長 渡部 尚